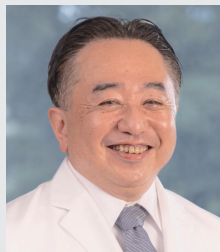


消化器内科

スタッフ紹介



診療部長
たかぎ ともひさ
高木 智久
教授 (H6)
内視鏡学・
消化器病学

うちやま かずひこ 准教授 (H7) 内視鏡学・消化器病学	みやけ はなと 助教 (H22) 脾臓病学・消化器病学
やまぐち みんじ 准教授 (H9) 肝臓病学・消化器病学	いわい 直人 助教 (H22) 内視鏡学・消化器病学
ひろせ 亮平 准教授 (H19) 内視鏡学・消化器病学・感染症病理学	きたえ 博晃 助教 (H23) 内視鏡学・消化器病学
そめい よしお 講師 (H7) 脾臓病学・消化器病学	かきた ともき 助教 (H24) 消化器病学・臨床腫瘍学
もりくみ みさひさ 講師 (H8) 肝臓病学・消化器病学	かじら まりこ 助教 (H25) 内視鏡学・消化器病学
よしだ 直久 講師 (H11) 内視鏡学・消化器病学	やまうち かつま 助教 (H28) 内視鏡学・消化器病学
どひ 統 講師 (H14) 内視鏡学・消化器病学	いけだ 京平 病院助教 (H26) 脾臓病学・消化器病学
いのうえ 健 学内講師 (H15) 内視鏡学・消化器病学	こばやし 玲央 助教 (H26) 内視鏡学・消化器病学
どひ 俊文 学内講師 (H19) 消化器病学・臨床腫瘍学	なぐさ 真由子 助教 (H28) 内視鏡学・消化器病学
せこ 裕也 学内講師 (H20) 肝臓病学・消化器病学	

私たちの業務

消化器疾患すべての領域（食道、胃腸、肝臓、脾臓、胆嚢など）にわたって指導的専門医を擁し、患者様のニーズに応じた最新・最善の医療が提供できる体制を整えています。日本内科学会、日本消化器病学会、日本肝臓学会、日本消化器内視鏡学会、日本超音波医学会の認定施設です。

◆ 消化管疾患

上下部内視鏡検査全般（胃／大腸カメラなど）においてレーザーやLED内視鏡などの最新機器を使用し、また超音波内視鏡やカプセル内視鏡を駆使して的確な診断と治療を行っています。食道・胃・大腸の早期癌には、粘膜切除術及び粘膜下層剥離術を中心とした内視鏡的治療、食道・胃静脈瘤には内視鏡の硬化療法や静脈瘤結紮術、経口摂取困難な方には経皮内視鏡的胃瘻造成術など良好な成績をおさめています。またクローン病や潰瘍性大腸炎には免疫調整薬・生物学的製剤などの免疫制御療法や白血球除去療法などが効果をあげています。また、食道・胃・大腸・肝・胆・脾進行癌に対しては、抗癌剤による化学療法と分子標的薬に温熱療法・免疫チェックポイント阻害剤を加えた集学的治療で予後改善に臨んでいます。

◆ 肝疾患

C型肝炎症例に直接作用型抗ウイルス薬治療を、B型肝炎に対しては核酸アナログやインターフェロンによる抗ウイルス治療を行っています。自己免疫性肝炎や原発性胆汁性胆管炎などの難治性肝炎の診断、治療も行っています。肝がんに対しては、ハイエンドのエコーを導入し、フュージョンイメージングや造影エコーでエタノール注入術やラジオ波焼灼術を行っています。また、従来の肝動脈塞栓術などの血管治療に加え、新規分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤を用いた集学的な肝がん治療を行っています。さらに、生活習慣病症例においては病診連携に重点をおき、肝細胞癌や肝硬変の原因として注目されている代謝異常関連脂肪肝炎（MASH）のエラストグラフィーを用いた早期診断や新規治療開発に取り組んでいます。肝がんとMASHに関して、数多くの治験に参加していることも特徴です。

◆ 胆・脾疾患

従来の検査法に加えて、脾腫瘍においてはフュージョンエコー下針ナビゲーションシステムや超音波内視鏡下生検（EUS-FNA）、胆道腫瘍においてはデジタル胆道鏡であるSpy Glass DSなどを駆使して病理学的診断を行い、治療方針を決定しています。悪性胆道狭窄には、内視鏡的経乳頭・超音波内視鏡下・経皮的超音波ガイド下胆道ドレナージ術を症例に応じて選択しています。重症急性膵炎に対しては、各部門と協力して、集中治療を行い、合併する被包化壊死には超音波内視鏡下に経消化管的ドレナージを行うなど集学的治療を駆使して救命率の向上を図っています。

外来診療担当医師予定表

令和8年4月1日現在

	月	火	水	木	金
初診・再診 (専門外来)	榊田 〈初診〉	山内 〈初診〉	池田 〈初診〉	池田 〈初診〉	梶原 〈初診〉
	山口 〈肝臓・胆嚢〉	吉田 〈胃腸 (内視鏡・癌)〉	内山 〈胃腸 (炎症性腸疾患)〉	山口 〈肝臓・胆嚢〉	高木 〈胃腸 (炎症性腸疾患)〉
	土井 〈消化器癌 (化学療法)〉	瀬古 〈肝臓・胆嚢〉	十亀 〈胆道・脾臓〉	(2、4W午後) 廣瀬 〈胃腸〉	森口 〈肝臓・胆嚢〉
	梶原 〈胃腸 (炎症性腸疾患)〉	岩井 〈胃腸 (内視鏡・癌)〉	森口 〈肝臓・胆嚢〉	十亀 〈胆道・脾臓〉	三宅 〈胆道・脾臓〉
	山内 〈胃腸 (内視鏡・癌)〉	榊田 〈消化器癌 (化学療法)〉	土肥 〈胃腸 (内視鏡・癌)〉	(午前) 吉田 〈胃腸 (内視鏡・癌)〉	北江 〈胃腸 (内視鏡・癌)〉
			(午前) 土井 〈消化器癌 (化学療法)〉 (永守がんセンター)	井上 〈胃腸 (内視鏡・癌)〉	
				瀬古 〈肝臓・胆嚢〉	

実際の診療

病名・病態	必要な診療
●消化管疾患	食道・胃腸透視・上部消化管内視鏡検査 超音波内視鏡検査（EUS） 内視鏡的止血術 内視鏡的ポリペクトミー 内視鏡的粘膜切除術（EMR） 内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD） 内視鏡的拡張術・ステント留置術 食道静脈瘤硬化療法、静脈瘤結紮術 経皮内視鏡的胃瘻造設術 超音波内視鏡下吸引細胞診・生検（EUS-FNAB） カプセル内視鏡検査（小腸・大腸） 小腸内視鏡検査 注腸透視・大腸内視鏡検査
●肝疾患	腹部エコー・造影エコー検査 超音波エラストグラフィ（FS）、超音波減衰法検査（ATI） 腹部CT・MRI 腹腔鏡検査（肝生検） エコーガイド下肝・腫瘍生検（fusion/contrast-enhanced エコー下） 陽子線治療目的の経皮的金マーカー留置 エタノール注入療法（PEIT） ラジオ波焼灼療法（RFA） マイクロ波凝固術（PMCT） 血管造影および肝動脈塞栓術（TACE） 肝動注化学療法（HAIC） バルーン閉塞下逆行性経静脈塞栓術（BRTO） デンバーシャント 腹水濃縮再静注（CART） 急性肝不全に対する血漿交換（PE）、高流量血液ろ過透析（High flow HDF）
●胆・膵疾患	腹部エコー・パルスドブラ検査（FFT）・3D fusionエコー検査 腹部CT・MRI・膵perfusion CT 超音波内視鏡検査（EUS）・超音波内視鏡下吸引細胞診・生検（EUS-FNAB） 内視鏡的逆行性膵胆管造影（ERCP） 内視鏡的乳頭切開術（EST） 内視鏡的胆道碎石術（EML） 胆道ドレナージ術（EBS/ENBD） 胆道ステント留置術 胆管・胆嚢ドレナージ術（PTCD/PTGBD） 経口（経皮経肝）胆管鏡・膵管鏡 エコーガイド（EUS・3D fusion）下腫瘍生検術 エコーガイド（EUS・3D fusion）下ドレナージ術・ネクロセクトミー 膵外分泌機能検査・膵内分泌検査 体外衝撃波胆石・膵石破碎術（ESWL） ペプチド受容体放射性核種療法（PRRT：ルテチウム-177）

2025年度診療実績

延べ入院患者 16,732人 新規入院 1,955人 平均在院日数 6.6日

上部ESD/EMR	下部ESD/EMR	ERCP関連	EUS-FNA	肝がん治療関連	その他 (がん薬物療法、炎症性腸疾患など)	計
353	332	290	108	124	748	1,955

外来での下部EMR/CSP 800件

外来：38,805人（新患者 1,452人）

府立医大 消化器内科 医局 TEL 075-251-5519 FAX 075-251-0710
URL <https://kpum-shoukaki.net>

救急対応 消化器センター外来 TEL 075-251-5023（外来時間帯）
救 急 外 来 TEL 075-251-5645・5646